

Stage Up

2002年新春号

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
通巻 No.107



写真：「流水に立つ」（オナガガモ）有田政一さん撮影（多摩区登戸にて）

- もくじ**
- 2** 特集 かわさき市民アカデミー
 - 4** 生涯学習ア・ラ・カルト
 - 6** ぐるーぷ BOX / いま地域で学校で
 - 7** まち・ひと・多面体 / 暮らし百景 俳壇
 - 8** イベントパーク

発行・(財)川崎市生涯学習振興事業団
〈ホームページ〉 <http://www.kpal.or.jp>

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
TEL 044(733)5560(代) / FAX 044(739)0085
ステージ・アップ直通 TEL 044(733)5811 E-メール: stage-up@kpal.or.jp

特集

かわさき市民アカデミー

だれもが自由に大学レベルの知恵を学べる場

「かわさき市民アカデミー」は、だれもが自由に専門的で高度な学習を受けることができる川崎市民の生涯学習の場として1993年に創設され、以来、年々受講者が増えています。アカデミーの学習は、主に講座（3ページの表）を午前中受講した後、より深く学んでいただくため、普通の大学と同様に20人ぐらいの人数で演習を行い、コーディネーターの先生と受講者が、共に学び合い響き合うことをめざしています。受講するには、会員として2年間専門のコースに入り、自分でテーマを決め継続して学習する方法と、聴講生として学びたい講座だけを選ぶ二つの方法があります。会員は、優先的に講座を受講できる権利があり、また受講料が格安になる特典もあります。続けて学習される方には、会員としての受講をお勧めいたします。



会員・聴講生募集案内

1. 募集期間

会員…平成14年2月15日(金)まで
聴講生…平成14年2月28日(木)まで

2. 募集コース（会員のみ）

①人間学 ②政治・国際関係 ③経済 ④文学 ⑤美術
⑥ことばと映像 ⑦社会福祉 ⑧みどり ⑨日本歴史

3. 費用

会員…入会金20,000円 1講座・1演習各5,000円
講座No.6・17・22は講座と演習必修で10,000円
聴講生…1講座7,500円 1演習10,000円

講座No.6は15,000円、No.17・22は17,500円

※会員・聴講生共通…No.21は訪問介護員3級課程(定員20人)を希望する方のみ4,000円別途負担

▼No.24は無料、ただし参加費として3,000円▼夜間講座A～C4,000円、Dのみ24,000円

4. 申し込み方法（多数の場合は抽選）

指定のはがきに必要事項を記入の上郵送
会員…「募集案内パンフレット」の添付はがき
聴講生…官製はがき(講座、住所、氏名、年齢、電話を明記)

5. 申し込み先

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
川崎市生涯学習プラザ内 かわさき市民アカデミー事務局

6. 問い合わせ

☎044(733)6626 (10時～16時、日・祝は休み)

◆「募集案内パンフレット」は、1月下旬ごろから生涯学習プラザのほか、市内各公共施設に置く予定です。

会員の声

再び学んで目から鱗が

01政治・国際関係コース 黒田 康彦

昨年後半、聴講生として別の講座を受講していましたが、今後多少幅を広げて勉強していくには聴講生より会員になったほうが何かと都合がよいことを知りました。今年度のコースに希望するテーマがなかったのですがとりあえず大昔、大学時代に政治学を専攻したことになるので、多少の土地勘は残っているだろうという軽いノリで政治・国際関係コースの会員になりました。

01政治・国際コースの演習は、東アジアの「政治と歴史」をテーマに立教大学名誉教授の野村浩一先生にご指導をいただいています。ここでは、それぞれのバックグラウンドも異なる20人あまりが侃々諤々、ゼミ形式で学習課題を進めています。会社人間をリタイヤするまでのおよそ40年間、絶えて久しく無かった、この自発的かつ集中的な学習の時間と空間は、今では自分にとって大変刺激的であり貴重なものであることを実感するに至っています。野村先生が演習の冒頭で、歴史哲学者E・H・カーを引用されながら解かれた「歴史(認識)は現在と過去の対話である」「資料は問いかねなければ応えてくれない」は私にとってまさに目から鱗の感が深く、この歳になって初めて、歴史をひもとくことの面白さを教えていただいたような気がしています。今後、地域活動にどう繋げていくのか、頭の痛い模索をせねばならないようです。(「友の会」会報19号より抜粋)

2002年前期(4月～7月)の講座一覧

会員・聴講生を募集中

| No. | コース | 講座名 | 講師 | 曜 | 開始時間 | 会場 |
|-----|--------|-----------------|-------------------|---|-------|----|
| 1 | 02人間学 | ヒトになる、人間になる | 日本体育大学教授 正木健雄 | 月 | 9:20 | ① |
| 2 | 01人間学 | 現代に生きる | 哲学者 内山 節 | 月 | 11:00 | ① |
| 3 | 02政治国際 | 中東の政治 | 法政大学助教授 木村正俊 | 月 | 9:20 | ① |
| 4 | 01政治国際 | 現代のアメリカ | 慶応義塾大学教授 久保文明 | 月 | 11:00 | ① |
| 5 | 02ことば | 名匠たちの映像表現 | 映画監督 堀川弘通他 | 火 | 10:30 | ① |
| 6 | 川崎学Ⅳ | 春夏編 川崎の自然 | 桜美林大学名誉教授 三島次郎他 | 火 | 10:00 | 野外 |
| 7 | 01歴史 | 近代日本の政治家 | 大東文化大学教授 坂井雄吉 | 火 | 11:00 | ① |
| 8 | 02社会福祉 | これからの医療・福祉を考える | 元日本大学教授 岡安大仁他 | 火 | 10:30 | ① |
| 9 | 02日本歴史 | 日本歴史の争点 | 一橋大学名誉教授 永原慶二他 | 火 | 9:20 | ① |
| 10 | 02美術 | イタリア・ルネサンスの美術 | 学習院大学名誉教授 裾分一弘 | 水 | 10:30 | ② |
| 11 | 01ことば | 古典のことば | 中央大学教授 山口明穂 | 水 | 10:30 | ① |
| 12 | 川崎学Ⅱ | 地域から災害を考える | 市民防災研究所事務局長 岡島 醇他 | 水 | 13:30 | ① |
| 13 | 02文学 | 時代小説からファンタジーまで | 作家 常磐新平他 | 水 | 10:30 | ① |
| 14 | 特別講座 | 人間の生活に関わる動物たち | 東京農業大学助教授 渡邊忠男他 | 水 | 13:30 | ② |
| 15 | 特別講座 | 法の世界を旅する | 早稲田大学教授 笹倉秀夫 | 木 | 10:30 | ① |
| 16 | 01音楽 | 日本の音楽 | 放送大学客員教授 竹内道敬 | 木 | 10:40 | ② |
| 17 | 01科学 | 災害の科学 | 東京大学教授 木村龍治他 | 木 | 10:30 | ① |
| 18 | 特別講座 | オペラの歴史 | 成城大学名誉教授 戸口幸策他 | 木 | 13:00 | ② |
| 19 | 02経済 | 世界経済の発展 | 東京大学教授 石見 徹 | 金 | 9:20 | ① |
| 20 | 01経済 | 日本企業のあゆみ | 専修大学名誉教授 麻島昭一 | 金 | 11:00 | ① |
| 21 | 01高齢福祉 | 介護とは何か | 長崎純心大学教授 一番ヶ瀬康子他 | 金 | 10:30 | ① |
| 22 | 02みどり学 | 自然学から園学・造園学へ | 造園設計家 野沢 清他 | 金 | 10:30 | ① |
| 23 | 川崎学Ⅰ | 人物で探る川崎の歴史 | 法政大学名誉教授 村上 直他 | 土 | 10:00 | ① |
| 24 | 川崎学Ⅲ | 多摩丘陵の緑地保金とまちづくり | 自主ゼミナール | 土 | 13:00 | ① |
| 25 | 特別講座 | 花の魅力Ⅱ | 玉川大学教授 稲津厚生他 | 土 | 10:30 | ① |
| A | 夜間講座 | 現代スポーツ人間論 | ノンフィクション作家 長田渚左 | 土 | 13:00 | ⑤ |
| B | 夜間講座 | 現代建築に時代を読む | 建築評論家 松葉一清 | 金 | 18:30 | ④ |
| C | 夜間講座 | 近代日本美術史 | 美術評論家 草薙奈津子 | 木 | 18:30 | ③ |
| D | 夜間講座 | 油絵を描く | 東京芸術大学教授 佐藤一郎 | 水 | 18:00 | ① |

【会場】①生涯学習プラザ ②新百合21ビル ③中小企業・婦人会館 ④高津市民館 ⑤麻生市民館

※講座名、講師、日程は変更することがあります。

————— 数字が語るアカデミー —————

かわさき市民アカデミーの受講生で組織する「友の会」が、昨年秋にアンケートを実施し、165人から回答を得ました。その結果の一端を紹介します。

◆アカデミーを受講している理由(複数回答)

1. 講師が素晴らしい…55
2. 学びたい講座がある…92
3. 時間があるので勉強したい…55
4. 学び合う友人が欲しい…19
5. 学費が手頃である…38
6. その他…2

◆アカデミーを受講しての感想

1. とても良かった…91
2. 不満もあるが、まあまでである…50
3. つまらない…0
4. その他…5

●はぐくむ●

催しがいっぱい「青少年の家フェスタ」

川崎市青少年の家では、若者のボランティアグループ「KYWC」の企画・運営による「青少年の家フェスタ」を開催します。利用団体の活動を紹介する発表会や、フリーマーケット、模擬店など催しが盛りだくさんです。

◆日時 3月10日(日)10時～15時半



*** ボランティアを募集します ***

「青少年の家フェスタ」の掲示物の作成や会場設営、イベント補助などを「KYWC」と一緒にしませんか。

活動日：2月17日(日)、3月9日(土)、10日(日)

対象：中学生から30歳くらいまで40人

申込：電話またはファックスで受付中

*** 出店者を募集します ***

「青少年の家フェスタ」のフリーマーケットに出店してみませんか。出店料は1000円で、20店舗募集します。申し込みは2月16日(土)までに往復はがきに住所、氏名、年齢、☎、主な出店物品を記入し下記へお送りください。
〒216-0033 宮前区宮崎105-1

問い合わせ 川崎市青少年の家

☎044(888)3588/Fax 044(857)6623

●さがす●

「電子掲示板」で生活情報も

市内42ヶ所に設置されている利用者端末「ふれあいネット」が提供するさまざまな情報から、今回は「電子掲示板」を紹介します。「電子掲示板」には音楽、美術、文化・文芸、スポーツ・レクリエーション、生活・趣味などの項目があります。催し物、講習会などの学習情報に加え、健康診断、リハビリ教室、子育て広場など日常生活に役立つ身近な情報もたくさん入っています。是非、ご利用ください。また、皆様の地域や活動している団体からの情報提供もお待ちしています。600字以内に内容、連絡先、住所、氏名、電話番号を明記して下記へお送り下さい。

問い合わせ 学習情報室

☎044(233)6250/Fax 044(233)2700

生涯学習ア

●まなぶ●

芸術文化支援事業公演

当事業団芸術文化支援事業の2月公演が、2団体により新百合21ビル多目的ホールで行われます。

Soul Liberty による「あかぺらまつり」

日時：平成14年2月17日(日) 15：30開演

入場料：無料

ふじ舞踊文化交流団(孝の会)による

①「日本の伝統芸」

日時：平成14年2月22日(金) 16：00開演

②「親子で楽しむ狂言と舞踊」

日時：平成14年2月23日(土) 14：00開演

入場料：大人各4,000円(2日間共通券6,000円)

中学生以下各500円

チケットは新百合分室(新百合21ビル)、学習事業室(生涯学習プラザ)、学習情報室(教育文化会館内)で販売。

問い合わせ 学習事業室 ☎044(733)6626

川崎市子どもの権利に関する条例—その9

川崎市子ども会議

条例第30条には、子どもが市政に意見を表明する機会を保障するため川崎のこれまでの取り組みの成果を踏まえ、「市長は、市政について、子どもに意見を求めるため、川崎市子ども会議を開催する」と規定されています。この会議は、子どもが自主的、自発的な取り組みによって子どもの総意としての意見をまとめ、市長に提出することができるとされています。また、市長は提出された意見を尊重することも定められています。

実際の川崎市子ども会議は来年度から開催されますので、現在、公募で集まった53名の子どもたちの「準備会」が、ワークショップなどで子ども会議のイメージづくりに励んでいます。

これからは子どもの視点から様々な提案がされることになるので、おとなにとっても、子どもにとっても、今まで以上に真剣な対応が求められることとなります。子どもとおとながパートナーとして共に社会をつくっていくという理念に基づいた「子ども参加」による具体的な制度のひとつが川崎市子ども会議です。

<次回に続く>

問い合わせ 市民局人権・男女共同参画室 ☎044(200)2344

ラ・カルト

中高年離職者のための「パソコン講座」

1月開催の「中高年離職者のためのパソコン講座」の日程をお知らせします。今回は初級のステップアップコースが、午前と午後の2コースずつ開催されます。

①日時 1月7日(月)～11日(金)

場所 産業振興会館

②日時 1月21日(月)～25日(金)

場所 かながわサイエンスパーク (KSP)

受講料 各コース 10,000円 (5日間)

講座終了後は受講生を対象とした以下のようなフォローアップが利用できます。

1. サポートデスクの利用
2. インターネットによる情報交換のサイトへの参加
3. スポット開催の講習会・イベントへの参加

★2月からは中級コース、ホームページ作成入門コースも始まります！

問い合わせ 学習事業室 中高年パソコン講習係
☎044(738)1561/Fax 044(733)0008

●たのしむ●

新年のスポーツ初め

スポーツをする目的は何ですかと問いますと、多くの人が健康や体力づくりのためと応えます。身体を鍛えて1年間の健康を祈願するのももったもなことです。

“スポーツ”の語源は「気晴らし、気分を転換する行動その全て」を言うことをご存知でしょうか。

最近では「生涯スポーツ」という言葉が定着してきています。これは、英語では「sports for all」、日本語では「みんなのスポーツ」と訳されます。1960～70年代にかけてドイツを中心にヨーロッパ全体に広まり、そして先進国間に共通の課題として取り組まれてきました。「生涯スポーツ」は、「チャンピオンシップ・エリート選手育成」と並ぶ大衆スポーツ振興策で、「コミュニティスポーツ」「市民スポーツ」などと呼ばれてきたものです。すべての人々が、生涯にわたって健康やレクリエーション、生きがいとしてスポーツを楽しむことが目的です。

大切なことは、競技スポーツ、生涯スポーツを区別することではなく、生涯各期のライフスタイルに見合ったスポーツに気軽に親しみ、日々の暮らしを健康で生きがいやうおいのある充実したものにするということです。

気分を新たに、自分にふさわしいスポーツを！

新年度には「大人のための健康づくり講座」として、屋内スポーツ教室(健康体操など3コース)、屋外スポーツ教室(テニスなど3コース)を予定しています。

問い合わせ スポーツ事業室 ☎044(733)5572

ハート & ハーモニー Vol.18

雪と氷のスポーツの祭典に

冬季オリンピック競技大会は、単に冬場に行われるスポーツではなく、「雪」と「氷」を利用したスポーツで構成されることになっています。1998年の開催地長野は史上最も南の大会で、まだ南半球では開催されていません。夏季大会と比べても種目数で約4分の1、参加地域数で3分の1強と、まだまだ普及に力を入れなければ世界のスポーツ祭典とまでは言えません。スケルトン(そりスポーツの一種)のような新種目の採用には積極的ですが、可能なら暖かい地域からの参加にもハンディの少ない工夫を取り入れたいものです。

冬季競技のスポーツはトレーニングにもレジャーにも施設と費用がかかるため、日本のような経済大国ですら一部の種目を除いて、「豊かさ」の感じられる普及状況にはありません。日常生活と切り離されているスポーツは「お遊び」、としか認識されていない社会のムードがあるからでしょう。しかし考えてみると、雪と氷には縁の深い地域を抱えている日本から、世界に発信できる冬季スポーツ競技が育たなかったのは、生活の中に「スポーツをする遊び心」が少なかったためとも言えるかもしれません。

主にヨーロッパで育ったスキーやスケートなどは、生活の中にも深く密着しています。北欧の観光シーズンは夏季が中心で、社会福祉の見学ツアーでも快適なこの季節に組まれます。短い夏に活動する人々を見て、開放的な印象を持って帰ることでしょう。

それでは北欧の長い冬はどうなのでしょう？

社会福祉の実態をつぶさに見たいのであれば、生活することが最も厳しい季節に、人々がどんな生活を送っているのかを実感しに行くほうが良いと思います。雪と氷に閉ざされかねない生活の中に、冬季スポーツ競技の原点を見ることができると思います。

1994年のリレハンメル(ノルウェー)オリンピックでは、スキーの距離競技会場に、大勢の観客が歩くスキーを履いて応援に来ていて、スキーが冬場の移動手段として定着している国であることを実感しました。ノルディックスキーのもう一つの華であるジャンプ競技は、遊びではなく刑罰から進化しました。スキー以外にも、高齢者や荷物を運ぶ人用には、立ったまま手すりを持って、押して進む簡単なソリが普及しています。片足を乗せてもう一方の足でキックすれば結構速く進むので、子供には遊びにもなります。

スポーツを文化として支えているものは、「生活の中の遊び心」ではないでしょうか。

(健康教育担当 スポーツドクター 野田晴彦)

ぐるーぷBOX

童謡・唱歌をたのしむ

「すずかけハーモニー」

「静かな里の秋お背戸に木の実が落ちる夜は…」古市場小学校近くの家から、心にしみるメロディーが聞こえてきます。歌っているのは「すずかけハーモニー」(望月昇子代表、会員77人)のみなさんです。会員は昭和一桁生まれの人がほとんどで、童謡や唱歌、青春時代の流行歌に乗って、“あの頃”に思いをめぐらせています。

同会の誕生は12年前。琴とピアノを教える望月さんが還暦を機に「何か人のために役立つボランティアを」と思い立ち、友人に呼びかけ自宅で童謡の会を開いたのが始まりです。「月1回の例会で参加しやすく楽しい」との評判がしだいに伝わり、当初6人だった会員も今や70人を超える大所帯に。一昨年は、発足10年記念の「うぬぼれコンサート」を開催しました。また、昨年4月から、第2火曜日に特別養護老人ホーム「ひらまの里」を訪問し、入居者と交流するなど活動に広がりをみせています。

訪れた日は、教育文化会館で開かれる「お散歩コンサート」出演に備えての練習でした。「里の秋」「犬のおまわ

りさん」「もみじ」「花かげ」「野菊」など8曲を合唱。1曲ごとに音程やリズムのあやふやな個所を拾い出し、練習しています。同会のテーマソング「すずかけのみち」を歌うころには、みんなの顔が輝きを増していました。

会員の声「子どものころの歌はよく覚えていて、歌っていると心が安らぎます。みんなと一緒に元気で続けていきたいです」。

◆活動日：第1月曜 10時半の部と13時の部

◆場 所：幸区古市場の望月さん宅

◆連絡先：☎・Fax(522)8768 望月さん



いま地域で学校で

黄金色に実った稲を刈る

岡上小学校の農業体験

麻生区の岡上は、今も自然豊かな田園風景をそこかしこに見ることができる地域です。岡上小学校(石澤久志校長、児童数303人)は、こうした地域の特性を活かし、昭和62年の開校以来、地域の田や畑を活用し、米や大根、さつまいも栽培などの体験学習に取り組んでいます。

秋晴れの10月中旬、稲刈りをするという日に同校近くの田を訪ねました。

この田は、地元の農家の方から借りた、広さ約500平方メートル。5年生が、総合的な学習の時間で、田植え、草取りなどの体験をしました。畦ぬり、代かき、消毒、水の調節等は農家の方をお願いしたり、保護者の方に手伝っていただいたりしたとのこと。

軍手、長靴に身を整えた40人の5年生とお手伝いの保護者の方々は、先生から稲刈りの仕方を教わり、さっそく刈り始めました。3人ひと組で縦に並び、先頭の人が鎌で刈った稲を、次の人に受け渡し、3人目の人が束ねる場所に運ぶというふうにして能率よく刈り取ります。瞬間に稲の束がむしろの上に積み上げられていきます。

次は、稲束を干す「はせ架け」です。みんな汗びっしょりになりながら作業をしました。

その後、稲は3・4週間干して脱穀・籾すりされ、収穫量120キロのもち米となったそうです。このもち米の使いみちは、これから話し合っ決めてとのこと。卒業と進級を祝う給食の赤飯、お世話になった方々のお礼の餅、地域で販売しその売上げを寄付する、などさまざまなアイデアが出されているようです。

石澤校長は「豊かな自然環境を活かした体験活動を通して人を思いやる心や収穫の喜びなどを育てていきたい」と語っていました。



まち・ひと・多面体

専門医がわかりやすく解説

「聖マリアンナ医科大学東横病院市民健康セミナー」

聖マリアンナ医科大学東横病院では、日ごろ市民が関心を寄せるさまざまな病を正しく理解し知識を得てもらおうと、平成6年から年3回(2月・6月・10月)「市民健康セミナー」を無料で開いています。会場は武蔵小杉駅近くの中企業・婦人会館で、毎回100人前後の人が参加しているそうです。企画・運営にあたるのは、同院の各部署の職員からなる「学術委員会」。これまで行われた24回のセミナーでは「小児の発熱」「スギ花粉症」「脳卒中の予防」「腰痛症」「めまいふらつき」など毎回テーマを変え、プロジェクター(投影機)を使って専門医がわかりやすく解説してきました。

また、学術委員会ではセミナー終了後、参加者のアンケートをもとに話し合い、要望に沿うよう工夫を重ねています。その一つが相談コーナーの開設です。セミナーでは医師の講演後、個人相談コーナーが設けられ、テーマ以外の医療に関する質問や、薬・看護・福祉などの相談に応じて「専門家の助言が得られ不安が解消される」

と好評です。

昨年10月下旬のセミナーでは「ピルと性感染症」と題し、野坂啓介・産婦人科医長が講演しました。野坂医長は、1990年代に世界的に認知された「性と生殖に関する健康と権利」の概念に基づき、女性のからだの管理、特に避妊に焦点をあてピルの特性を解説。その後、最近増えている性感染症の症状や治療について話しました。

第25回の「市民健康セミナー」は、2月23日(土)14時から開催されます。詳細は8ページ「イベントパーク」にありますのでご覧ください。



くらし百景

俳壇

京寿みなと句会

- | | |
|-----------------|-------|
| 雪だるま撫でる笑顔の通学児 | 新部恵美子 |
| 春立つ日猫のそのそと塀渡る | 江口 文雄 |
| 丸太敷き漁師酒酌む磯焚火 | 徳永 義雄 |
| 子等の声はしやぎひびくや春の雪 | 秋元 和枝 |
| 足止めの言訳できる春の雪 | 小原 勝子 |
| 襲名の行灯並ぶ春の宵 | 小池 君江 |
| 春立つ陽背負つて歩む影法師 | 相馬 光子 |
| 高値する大根しかと味わいぬ | 西沢以志子 |
| 春の鳶虚空ゆったり日を描く | 立石 吉輝 |
| 亡き人の話と変る磯焚火 | 榎田 多き |
| 靴底に土の息吹や暖かし | 久井 敏雄 |
| 寒明けて今日武道館休館日 | 田中 小枝 |
| 佳きことのきつと有る筈春立つ日 | 若林 敏子 |
| 嘶家の話芸に歓声山笑ふ | 富岡 みつ |
| 湯豆腐ときめた夜の風荒ぶれり | 三浦 勅枝 |
| 見遙かす彼方二月の海の風 | 伴 美枝子 |
| 春禅堂出でて濁世に身を戻す | 山下 昇舟 |

※「京寿みなと句会」は十二年前に京町老人いこいの家に発足した会です。最初は俳句の「俳」の字も知らない人たちがばかりでしたが、いまでは仲間の作品について批評するまでになりました。これからも老いに負けず頑張つて楽しく俳句を続けていきたいと思っております。

代表 山下 昇舟

情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

●新春初笑い寄席

1月19日(土)18時開演、川崎市民プラザ。出演は林家こん平、三遊亭好楽他。前売り1800円。プラザフロントで発売中。☎(888)3131。



●フレッシュアンサンブルかわさき=写真=in 2002

1月13日(日)14時開演、麻生市民館。ピアノ、フルート、バイオリン、チェロの独奏。クライスラー「前奏曲とアレグロ」他。後半は昔話の朗読と演奏。無料。先着200人。☎(989)1338同事務局の丸山さん。

●ランチタイムコンサート～箏&尺八「邦楽の調べ」

1月16日(水)12時15分開演、市役所第3庁舎ロビー。無料。出演は海宝幸子(箏)他。☎(222)8821の市文化財団。

●ミニ画廊スナック琴～書道・写真作品展

①1月26日(土)まで、越川サカエ・菅原美代子かな・漢字の書。②1月28日(月)～2月16日(土)、渡辺洋二の風景写真。③2月18日(月)～3月2日(土)、田辺翠香の書。☎(544)0507。

●東芝科学館①わくわく実験ショー～シャボン玉の秘密

②ガリレオ工房科学実験教室～つくり湯船で竜巻

①は1月12日(土)②は1月26日(土)。時間は①②共10時と13時半。定員①は各250人②は小学4年以上各50人。要予約。無料。☎(549)2200。

●テクニカルフォーラム～安心・安全に暮らせる街をめざして

2月1日(金)13時15分から、川崎市産業振興会館。無料。片山恒雄・防災技術研究所理事長の基調講演「これからの地震防災」他。先着300人。☎(322)6078、Fax(322)6516日本鋼管テクノサービス研究支援部。

●第13回かわさきデザインフェア

2月1日(金)10時半～18時半。かながわサイエンスパーク西棟 KSP ホール。「産業～情報～融合」をテーマに、喜多俊之・環境プロダクトデザイナーの講演とデザインコンペ2001公開審査会。無料。先着250人。☎1月9日(水)から☎(200)2334、Fax(200)3920市経済局産業振興課。

●川崎市民プラザ社交ダンス教室

1月12日～3月23日までの土曜、全10回。時間は▽初級…

10時40分▽中級…9時▽上級…12時半。受講料各12000円。先着順。☎(888)3131。

●気功入門教室

2月16日～3月16日の毎土曜18時半から、全5回。場所はサンライフ川崎。受講料3150円。先着30人。☎1月22日(火)9時から電話または来館。☎(344)1777。

●朗読入門講習会

2月2日～3月2日の土曜10時、全5回。場所は北部身体障害者福祉会館。市内在住・在勤・在学の20人、抽選。無料。☎1月19日(土)までに往復はがきに住所、氏名、☎、生年月日を記し、〒213-0001高津区溝口1-18-16の同館。☎(811)6631。

●子育て交流集会

2月12日～26日の火曜10時、全3回(単発参加可)。プラザ橋。「子育て・私の場合」「私の考える家族、そしてこれから」をテーマに講師と共に考える。無料。先着30人。保育は1回500円。☎1月22日(火)10時から電話で。☎(788)1531。

●市民健康セミナー「薬とアレルギー」

2月23日(土)14時、川崎市中心小企業・婦人会館。講師は高藤繁・聖マリアンナ医科大学東横病院内科副部長ほか。講演後は質問に応じる。看護・処置・薬・福祉の相談コーナーあり。無料。当日直接。☎(722)2121内線522同病院総務課。

●クリエイティブ科学館一般公開

2月24日(日)13時半。場所は麻生区黒川の発見工房クリエイティブ。科学遊具の公開▽科学クイズ▽工作やミニ実験あり。対象は小学生～成人。定員60人。参加費子ども1000円。大人2000円。☎☎(981)1892の発見工房クリエイティブ。

●混声合唱団「樹林」第12回定期演奏会

2月24日(日)14時開演。会場は品川区のきゅりあんホール。モーツァルト「ミサ短調」、高田三郎「心の四季」。全自由席2500円。☎☎(856)7688同事務局の小倉さん。

●キャットウル・ロゾーサクソフーンアンサンブルコンサート

3月15日(金)18時半開演、川崎能楽堂。サクソフーン四重奏団の演奏。ドビュッシー「亜麻色の髪の乙女」他。3000円。1月15日(火)から市文化財団他で発売。☎☎(222)8821。

●早春の円筒分水と久地梅林を歩く

3月16日(土)13時半、JR 武蔵溝ノ口駅改札集合。先着20人。☎2月22日(金)10時から電話で。☎(788)1531のプラザ橋。

◆事業団より御礼◆ 川崎市生涯学習振興事業団の創立10周年を記念した「かわさき市民アカデミー学園祭」と「フリーマーケット」が昨年11月下旬に開催され、盛会裏に終了いたしました。ご協力いただきました皆様にご心より御礼申し上げます。初日は、木管五重奏団「マガサズリステン」のさわやかな演奏で幕をあげ、松下充孝・教育長はじめ多くのご来賓列席のもと、創立記念セレモニーが行われました。一般公開された記念講演「イスラムと政治」(講師は木村正敏・法政大学助教授)には社会情勢を反映してか、大勢の参加がありました。翌日は、生涯学習プラザの駐車場で、フリーマーケットが開かれ、33ブースにたくさんの品物が並べられ、掘り出し物を探す買い物客でにぎわいました。

